

(様式1)

令和6年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(雄踏小)学校運営協議会長

＜本年度の目標＞

- 今年度の活動から見えてきた課題改善に向け、継続して熟議を行なっていきたい。
- 学校支援ボランティアの方々や地域の外部講師を積極的に活用できるよう働きかけ、「雄踏らしさ」や「雄踏ならではの」の特色をさらに出せるような支援活動を行ないたい。
- 保護者や地域の方にさらに認知してもらうことが、活動への協力や理解が増すことにつながるので、情報発信の手段を検討したい。

＜評価項目1＞ 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- グランドデザインを使い丁寧な説明を受けた。そのため、学校の目指す方向について十分理解することができた。
- 学校運営の基本方針について十分熟議することができた。

＜評価項目2＞ 承認した学校運営の基本方針に沿った、教育活動の充実につながる学校支援活動などについて熟議を進めることができたか。

- 学校教育目標と学校支援活動とのつながりを意識して熟議を重ねることができた。コーディネーターより様々な支援が打ち出されており、児童への支援と共に教職員の負担軽減にもつながるような支援活動が行われてきた。
- 地域人材活用の充実が進んでおり、地域と家庭が一つになって支援活動に取り組んでくださっている。ただ、その目的、必要度等の実態を精査し、話し合うことが必要である。

＜評価項目3＞ 協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか。

- 協議結果や取り組みを、保護者や地域の方に周知してもらうため、ゆうさくだよりの発行に加え連合自治会の回覧板で情報発信を行った。
- 各委員が所属している団体でも積極的に情報発信を行っているが、より支援活動や協議結果を認知してもらうよう工夫したい。

＜評価項目4＞ 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標（取組の重点）

- 目の前の子供のため、幼小中との連携・融合を意識した取り組みにつなげる。
- 子供たちが、様々な人と直接つながることに重点をおいた取り組みにつなげる。
- 学校支援ボランティアの方々や地域人材を積極的に活用し、「雄踏らしさ」や「雄踏ならではの」の特色をさらに出せる支援活動を行う。
- 保護者や地域の方の協力や理解を増すために、情報発信の手段をさらに検討する。